

# 交流サイトに起因する子どもの被害最多（上半期）！！ ～ 14%増の796人「チャット型に移行」～



交流サイトを利用して性犯罪などの被害に遭った18歳未満の子どもが、今年上半期（1～6月）に全国で796人に上り、昨年同期より98人（昨年同期比14%）増えたことが警察庁のまとめで分かりました。

統計を始めた平成20年以降で最も多く、出会いの場を提供する「チャット型」サイトを通じた被害が急増しているのが主な特徴です。交流サイトで知り合った相手から児童買春や児童ポルノ、淫行などの被害に遭った子どもは、昨年1年間に1,421人で過去最多でした。

このうち「LINE（ライン）」や「カカオトーク」といった無料通信アプリで使うID交換掲示板の利用者が439人で全体を押し上げていました。

昨年11月、利用者が18歳未満でないことを身分証明書で確かめる対策を導入したところ、交換掲示板を利用した上半期の被害者が、昨年は262人でしたが今年は119人に激減しました。全体に占める割合も38%から15%に低下しました。

一方、18歳未満の利用を制限・禁止しながら年齢確認を行っていないチャット型での被害が急増しています。

最も被害が多かったサイトは「友達作りTalk」の101人で、昨年同期より88人増加し、次いで「ぎやるる」の96人（71人増加）となっています。

SNSは大変便利ですが、サイトで知り合った人を安易に信じたり、サイトで知り合った人と会う約束をしたりしないように注意してください。



【本情報は、10月17日付け福井新聞記事等を引用しています。】

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課 小林

電話：0776-20-0296（直通）メール：s-kobayashi-7g@pref.fukui.lg.jp

「家庭の日」推進テーマ10月「スポーツを楽しみ、よい本に親しもう」

「青少年育成の日」推進テーマ10月「スポーツに親しみ、たくましい心と体を育てよう」